

公示

2017年9月22日
学校法人工学院大学
理事長 後藤 治


工学院大学学長選任規程第9条の規定に基づき、次期学長に求める要件及び次期学長が達成すべきミッションを下記の通り公示します。

記

■関連法令および内部規則

【学校教育法 第九十二条】

3 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

【大学設置基準 第十三条の二】

学長となることのできる者は、人格が高潔で、学識が優れ、かつ、大学運営に関し識見を有すると認められる者とする。

【工学院大学学長選任規程 第9条】

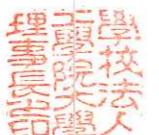
学長となる者は、学識が優れ、校務をつかさどり、所属教職員を統督するにふさわしい者とする。

2 理事長は、次期学長に求める要件及び次期学長が達成すべきミッションについて、理事会で審議し決定したうえで、あらかじめ公示するものとする。

■次期学長の要件およびミッション

【次期学長に求める要件】

- 1 本学の建学の精神に共感し、将来に向けて大学をさらに発展させる意欲と熱意を持つ者
- 2 高い倫理観を持ち、教職員の模範を示せる者
- 3 科学技術・工学の分野における高等教育、学術研究において10年以上の経験があり、教育・研究組織のリーダーとして責任を果たし得る者
- 4 中大規模の組織マネジメントに2年以上携わった経験がある者
- 5 大学マネジメントについて見識があり、学校法人の理事としての経営責任を果たし得る者



【次期学長が達成すべきミッション】

学長は、建学の精神、学園ビジョンに基づき、工学院大学の社会的価値を将来に向けてさらに高めていくため、教学組織を率いて下記のミッションの達成のための職務を適正に遂行する

- 1 工学院大学が時代の要請、科学技術の構造変化、産業分野・雇用の変化、経済社会のグローバル化の進展などにも対応しながらその社会的価値をさらに高めるための教育ビジョンやポリシーを示し、これを教学組織の構成員などに啓蒙し、学生、保護者、卒業生、地域、企業社会等のステークホルダーにも発信する
- 2 学園の中長期計画、年度事業計画の策定に参画し、大学における計画の遂行を指揮する

- 3 工学院大学が、本学で学ぶことを志願する者からはさらに選ばれ、学んだ者からはより高い満足度を得られる大学になるよう工学教育改革を推進し、大学のカリキュラムや授業内容、国際キャリア教育プログラム、学生支援サービスなどが社会・時代の要請に即してより魅力に富むようなものとなり、科学技術立国を支える多様な理工系人材を育成するように改善を行う
- 4 教学組織を中心に営まれる研究活動を、科学技術立国日本や21世紀型のものづくりの発展、グローバルな視点での社会の問題解決に貢献し、工学院大学の社会的評価をさらに高めるとともに、学生に貴重な経験・キャリアデベロップメントの機会を与え、また国や産業界からの重点投資対象先としてもさらに選ばれるような方向で推進する
- 5 社会のニーズの変化や経済社会のグローバル化に対応して、学士・修士の6年制一貫教育体制の整備、海外からの留学生を含めた幅広い学生の受け入れ、工学教育改革に沿った先進的な教育プログラムの実施などにより、先端領域で創成能力を発揮する優れた技術者、研究者などの実務、研究をリードする人材を育成する大学院改革を推進する
- 6 理事長との共同により学校法人としての学園と教学組織としての大学の密接な協働関係を確保、保持する
- 7 配分された人的資源を活用して教学組織の管理・運営を行い、教職員間の連携・協力を密にして、目的を円滑かつ効率的に達成するよう努める
- 8 教学組織の管理・運営に携わる教員を指名し、指揮監督するとともに、教員が学生の教育・指導や研究活動において高い成果をあげられるよう、人事管理を適正に行う
- 9 教員の新規採用においては、学園全体の将来ビジョンに即し、本学の社会的価値を高めることに貢献する者を採用する
- 10 教員が学生からの尊敬を集め、学生に対して負う高度な倫理的責務を適正に果たせるようモラルの高揚、綱紀の保持に努める
- 11 本学園の業務・予算計画に則して、管理下の業務において合理的な予算の管理、執行および適正な経理が行われるよう教職員を指揮・監督する
- 12 管理下にある施設、設備が、効率的、清潔かつ有効に活用されるよう、その利用方法の改善などにつとめる
- 13 事務の簡素、効率、標準化および情報処理の高度化が推進されるよう、教学組織を指導、監督する
- 14 附属中学・高校および理数系教育に力を入れている高校、国立高等専門学校などと連携して、高大接続のシナジーを高める
- 15 大学の長として、地域連携をはじめとする対外的なパートナーシップの強化やコミュニケーション・情報発信を積極的にリードする
- 16 大学間の国際的な交流や研究協力などの国際業務をリードする
- 17 本学園の財務の一層の強化、充実に貢献する

以上